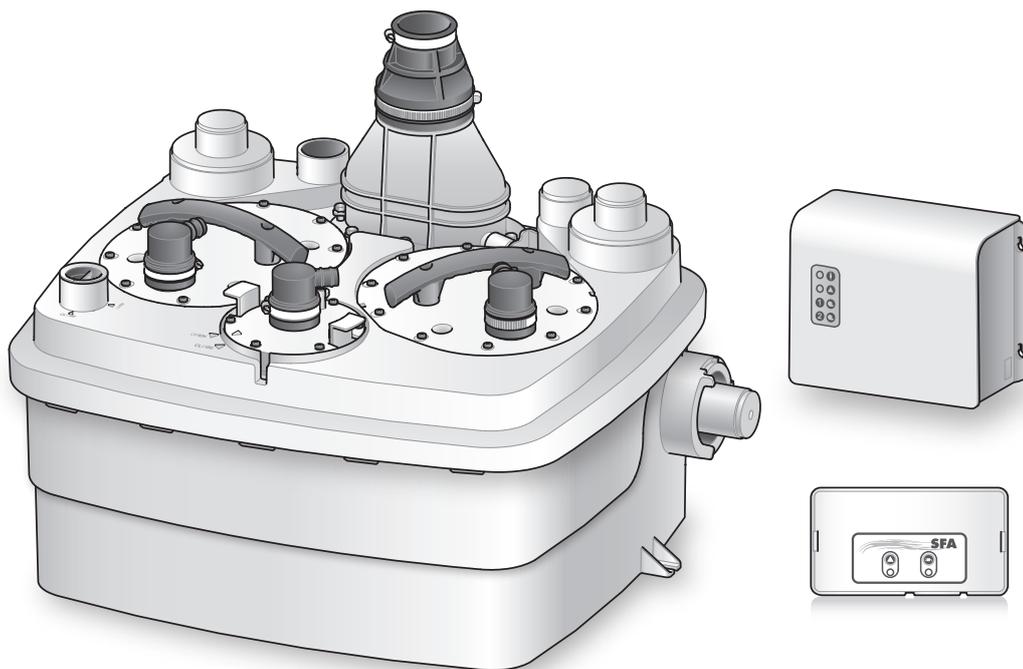


# SFA

## サニキュービック 2 クラシック 施工説明書／取扱説明書

### SANICUBIC<sup>®</sup> 2 Classic



本製品は、汚水、雑排水兼用の粉碎圧送揚水ポンプです。  
施工説明書に従って正しく設置、ご使用いただければ、規定の性能を発揮します。  
本製品は、ISO 9001の認証を受けた工場で製造されています。

本製品の仕様は予告なく変更になる場合があります。ご了承ください。



# はじめに

施工前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容に従って正しく取り付けてください。

## 安全に関するご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

 **警告** 誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** 誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

### 警告

絵表示の例



してはいけない「禁止」の内容です。



必ず実行していただく「強制」の内容です。



分解禁止

**絶対に分解したり、修理・改造は行わない**  
火災や感電、けがの原因になります。



禁止

本製品は屋内設置用です。屋外および傾斜のあるような壁面や床面、振動の激しい場所には取り付けない

電源コンセントは水や小水がかからない位置に設置する  
給排水管及び吐出配管の真下にコンセントを設置したり、給排水管及び吐出配管と電源プラグ・コンセントを接触させない  
感電・発火の原因となります。

給水管と吐出配管、排水管接続部を接触させない  
上水道に汚水が混入して健康に被害が及ぶ可能性があります。



アース接続

電源は、単相200Vを使用する  
接続回路は漏電遮断器付きとし、専用回路とする  
アース線は緑／黄のケーブル  
火災や感電のおそれがあります。



水ぬれ禁止

水を流して清掃するトイレ、屋外など水がかかったり湿気の多い場所には設置しない  
商品に水をかけない  
火災や感電、けがなどの重大事故のおそれがあります。



必ず守る

電気工事は、電気工事士またはそれに準ずる資格を持った方が行う必要がある

### 注意



禁止

専門業者以外の方は、施工を行わない  
水漏れ、故障、けがの原因になります。

吐出配管を踏みつけない  
ポンプから汚水があふれて家財をぬらす財産損害発生のおそれがあります。



必ず守る

施工は施工説明書に従って確実に  
正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。

吐出配管は、汚水の場合は汚水系統に、雑排水の場合は、雑排水系統に接続する。

本製品を設置する前に、必ず配管が所定の条件で施工されていることを確認する  
水漏れや故障の原因になります。



必ず守る

必ず同梱の部品を使用し、正しく所定の位置に取り付ける  
正しく取り付けないと水漏れ、故障の原因になります。

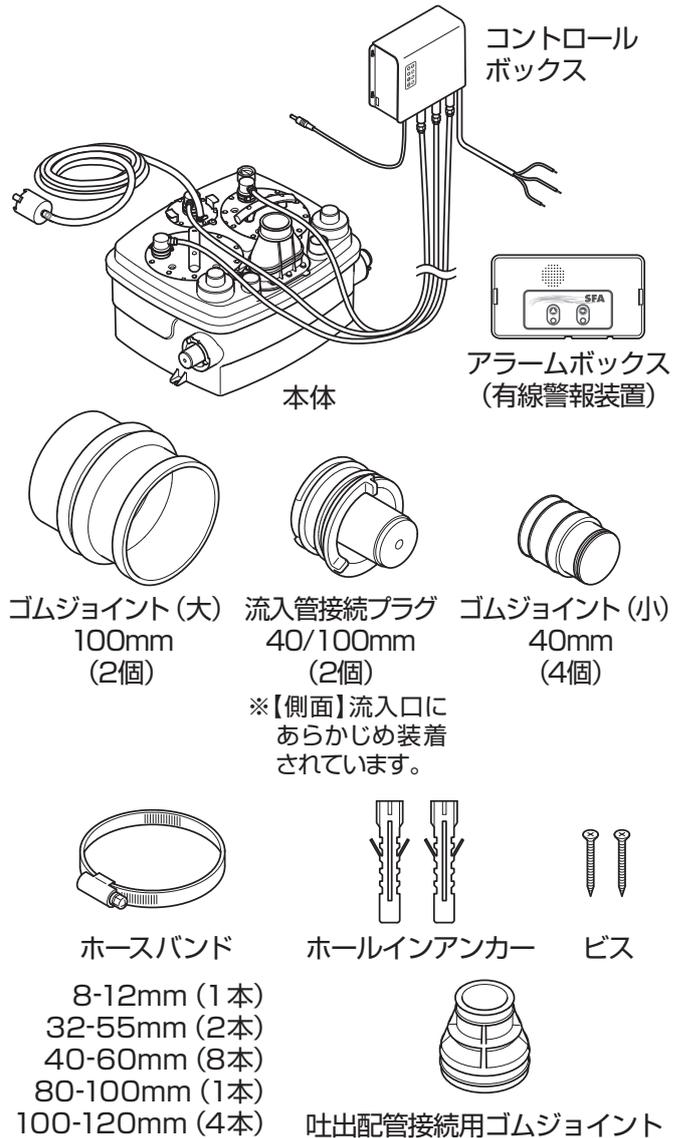
工事完了後、本製品に通電し本製品に接続されている全ての設備機器に十分水を流し、本製品が正常に稼働し排水が吐出されることを確認する  
また、本製品の吐出配管接続部、流入配管接合部から水漏れ等の異常がないか確認する  
確認せずに使用すると、浸水による財産損害の原因になります。

配管と電源コードは人が通らない場所に設置する  
人が通る場所に設置すると、転倒などにより、けがをすることがあります。

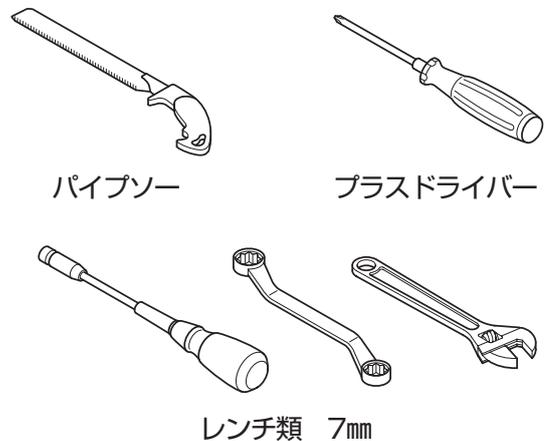
## 施工上のご注意

- ・本製品の設置検討に当たってはP.8・9「設計施工ガイド」をご一読ください。
- ・本製品の設置スペースは、将来のメンテナンス・更新作業のため上部・四方は製品から600mmの空間を確保してください。寒冷地などの凍結のおそれがある場所では、器具・配管が凍結しない措置が必要です。
- ・単相200Vの50Hzまたは60HzのAC電源を必要とします。
- ・接続回路は漏電遮断器で保護される必要があります。電源は専用回路としてください。
- ・電源ケーブルは、コントロールボックスから出ていて、長さは2.5mです。コントロールボックスと本体は4m長のケーブルで接続されています。アラームボックスはコントロールボックスから出ている4.5m長のケーブルで接続してください。
- ・本製品の本体、コントロールボックス、アラームボックスは、雨などの水がかからない屋内に設置してください。
- ・コントロールボックスとアラームボックスは、ピット内、パイプスペース内、メーターボックス内などの湿度が高い場所、結露が発生する場所には設置しないでください。
- ・浄化槽を使用する場合、水量・水質の規定があります。建築用途や処理対象など個別に検討する必要がありますので、浄化槽メーカーまたは販売業者にご確認していただき、その指示に従ってください。
- ・汚水と雑排水の合流方法、排水管の設計方法は各自治体の指定に従ってください。

## 同梱部品

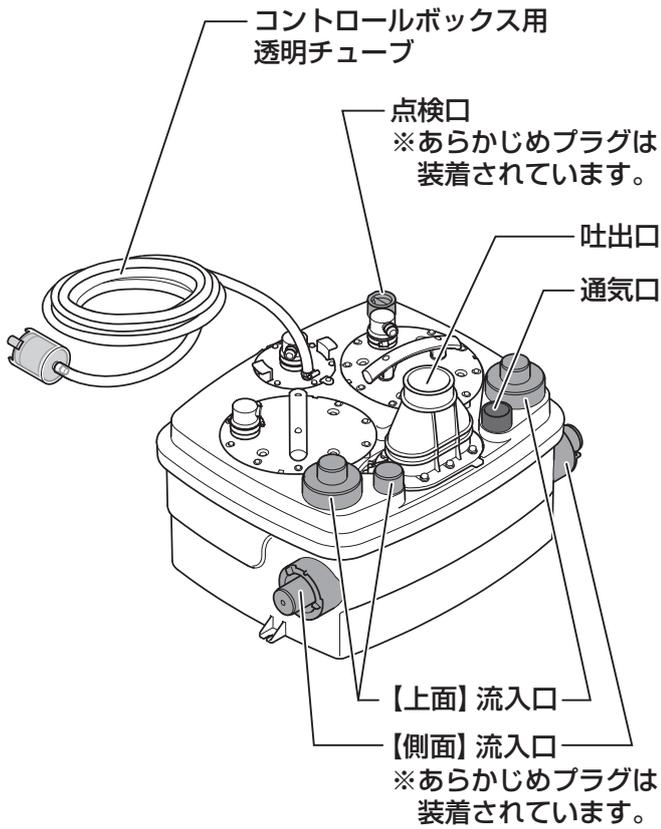


## 必要工具



レンチ類は、ホースバンドの増締め用に使います。  
7mmのソケットレンチ・メガネレンチ・モンキーレンチ・ソケットドライバーなどをご用意ください。

# 各部のなまえ

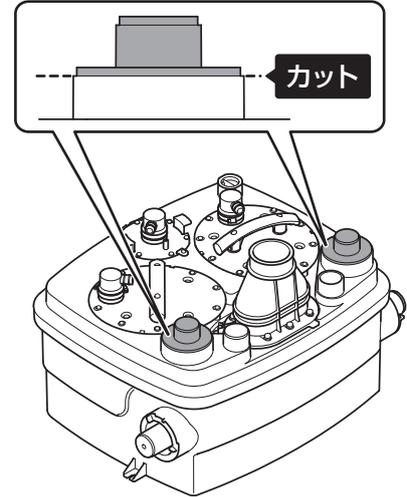


# 取り付けかた

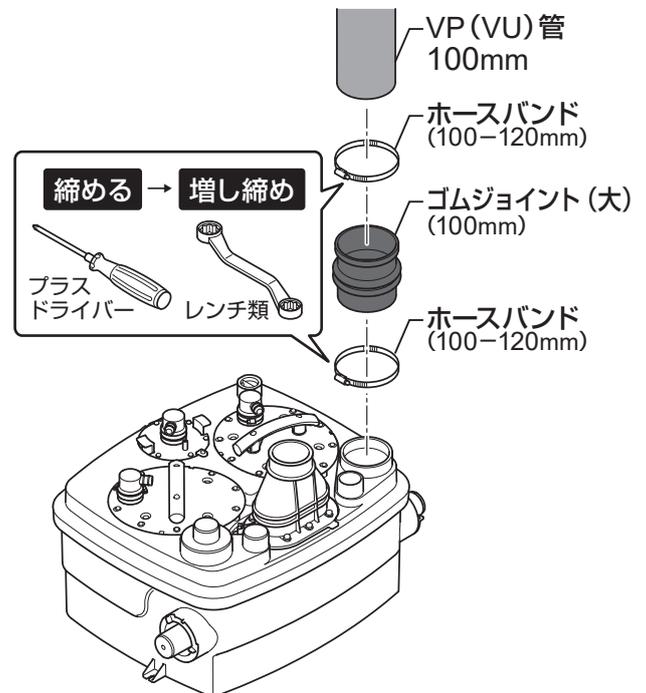
## 1 流入配管の接続

【上面】流入口 φ100mmを使用する場合

- 1 使用する【上面】流入口を図の位置でパイプソーでカットする



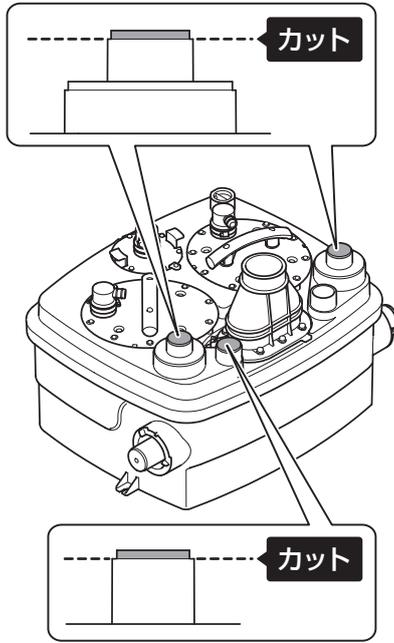
- 2 ゴムジョイント(大)を流入口にしっかり差し込み、ホースバンド(100-120mm)で2カ所、固定する



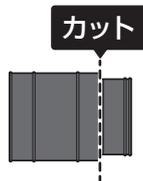
# 取り付けかた (つづき)

## 【上面】流入口 φ40mmを使用する場合

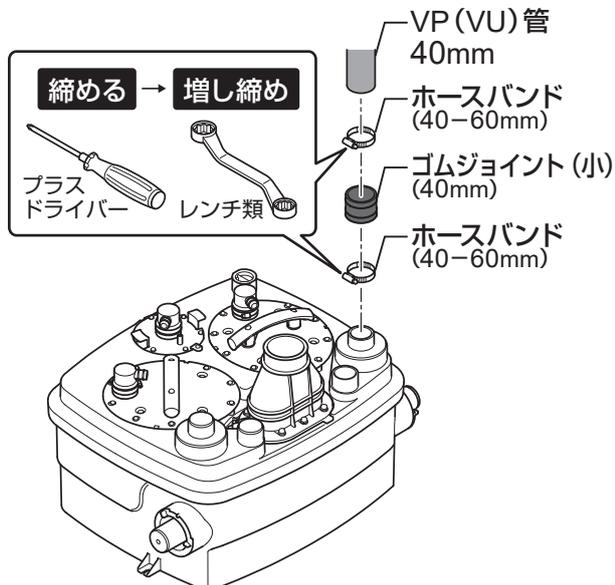
- 1** 使用する【上面】流入口を図の位置でパイプソーでカットする



- 2** ゴムジョイント(小)を図の位置でカットする

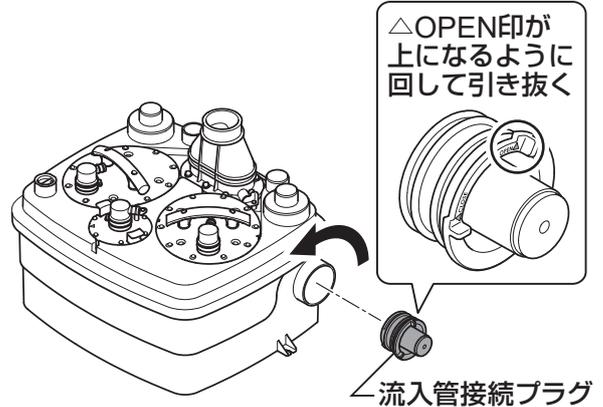


- 3** ゴムジョイント(小)を流入口にしっかり差し込み、ホースバンド(40-60mm)で2カ所、固定する

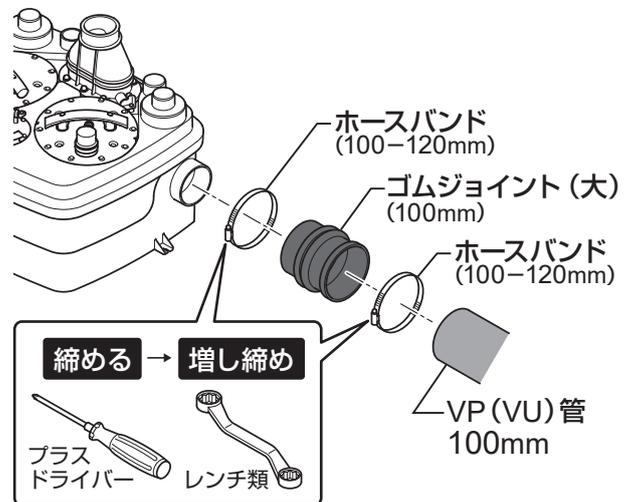


## 【側面】流入口 φ100mmを使用する場合

- 1** 使用する【側面】流入口の流入管接続プラグを取り外す



- 2** ゴムジョイント(大)を流入口にしっかり差し込み、ホースバンド(100-120mm)で2カ所、固定する

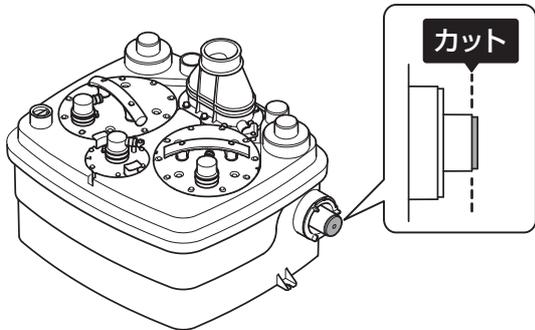


※【側面】流入口を流入管接続プラグによって再度ふさぐ場合は、上記**1**の取り外しの手順と逆の手順で行うこと

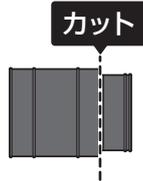
# 取り付けかた (つづき)

【側面】流入口 φ40mmを使用する場合

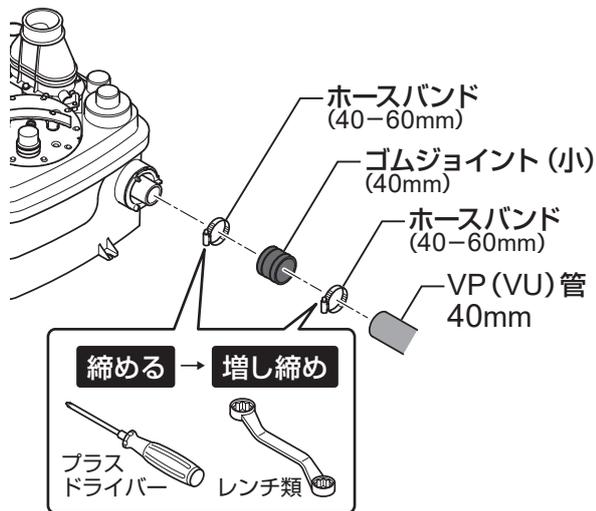
- 1** 使用する【側面】流入口の流入管接続プラグを図の位置でパイプソーでカットする



- 2** ゴムジョイント(小)を図の位置でカットする

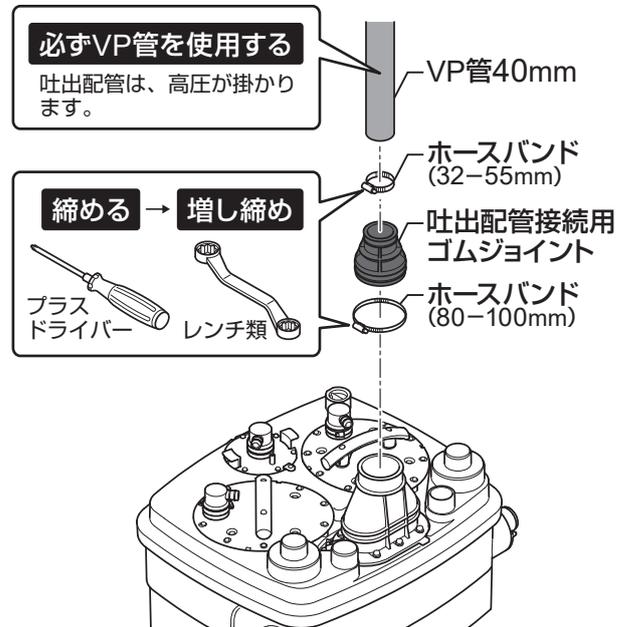


- 3** ゴムジョイント(小)を流入口にしっかり差し込み、ホースバンド(40-60mm)で2カ所、固定する



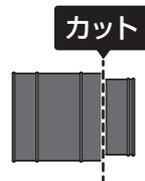
## 2 吐出配管の接続

吐出配管接続用ゴムジョイントを吐出口にしっかり差し込み、ホースバンド(32-55mm、80-100mm)で2カ所、固定する



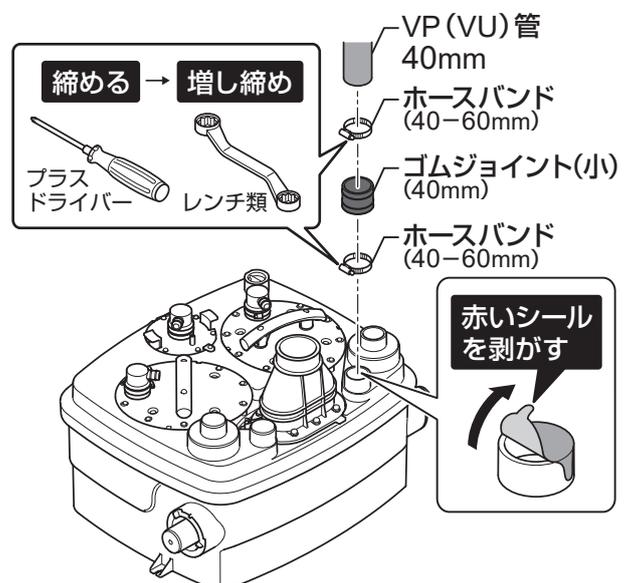
## 3 通気管の接続

- 1** ゴムジョイント(小)を図の位置でカットする



- 2** 通気管に貼られている赤いシールを剥がす

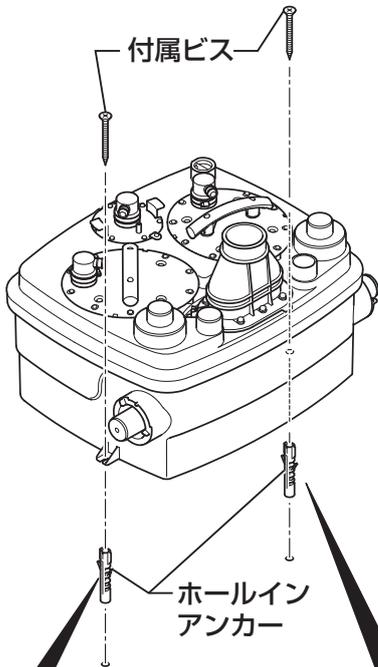
- 3** ゴムジョイント(小)を通気口にしっかり差し込み、ホースバンド(40-60mm)で2カ所、固定する  
※通気管の先端は開放した状態にする  
(ドルゴ通気弁は絶対に取り付けない)



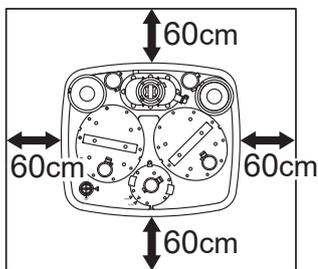
# 取り付けかた (つづき)

## 4 床固定

付属ビスを用いて本体を床に水平に固定する



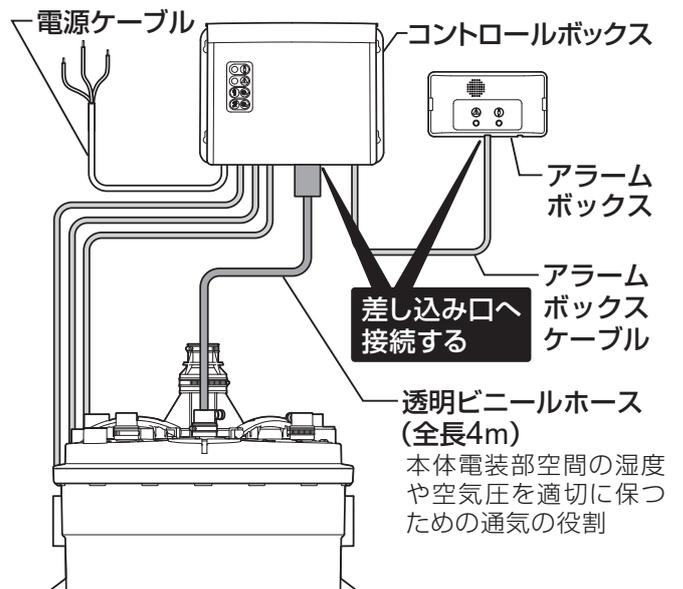
床がコンクリートの場合は、 $\phi 10\text{mm}$ の下穴を40mmの深さで開けホールインアンカーを埋め込んだのちに付属ビスで固定する



本製品の設置にあたっては、四方に60cm、上方に1m以上のメンテナンス時に人が作業できる十分なスペースを確保する

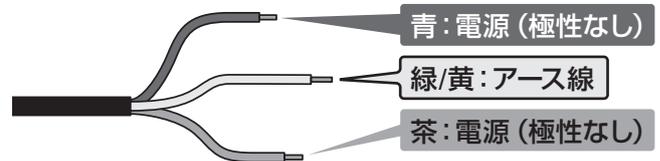
## 5 コントロールボックス、アラームボックスの取り付け

- 1 コントロールボックス、アラームボックスを所定の位置に取り付ける
- 2 コントロールボックスから出ているアラームボックスケーブルは、アラームボックスの差し込み口に接続する。  
※本体とコントロールボックスをつなぐケーブルはあらかじめ接続されています。
- 3 透明ビニールホースは、コントロールボックスの差込口に接続する



## 6 電気工事

単相200Vの電源が必要です。  
専用回路とし、接続回路は漏電遮断器を取り付ける。



### ⚠ 注意



結線に注意する

アース線は、緑/黄のケーブルです。

## 試運転

工事完了後、本製品に通電し本製品に接続されている全ての設備機器に十分水を流し、本製品が正常に稼働し排水が吐出されることを確認してください。また本製品の吐出配管接続部、流入配管接続部から水漏れ等の異常がないか確認してください。

本製品はポンプ内部水位が設置面より約160mm高さになった時点で起動します。  
これは約23リットルの排水流入量に相当します。

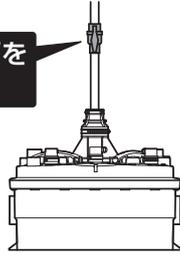
# 設計施工ガイド

## 吐出配管に関する注意

### 1 吐出管になるべく近い位置にボールバルブなどを 入れてください。

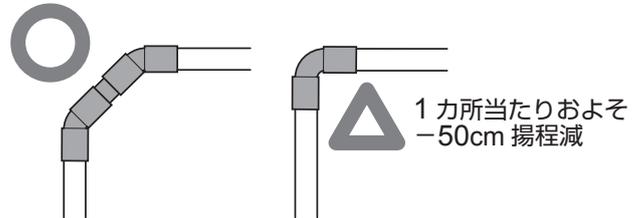
バルブは常時“開”の状態でご使用ください。  
メンテナンス・修理時のみ、バルブを閉めて管内の排水の落下を  
防いでください。

ボールバルブを  
取り付け



### 2 適用配管はVP管40mmです。

エルボは45度曲がりのものを推奨します。



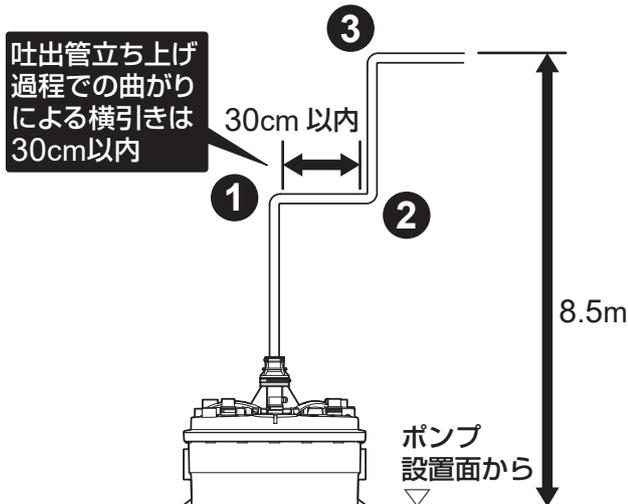
### 3 ●吐出管立ち上げ過程での曲がりは、1曲がりにつ き各ポンプの最大揚程から50cmずつ減衰します。 (但し曲がりは3回まで)

●ポンプの最大揚程、および横引き搬送可能距離は、  
P.10の図をご確認ください。

●立ち上げ可能高さ=(最大揚程)-(減衰50cm×曲がりの数)

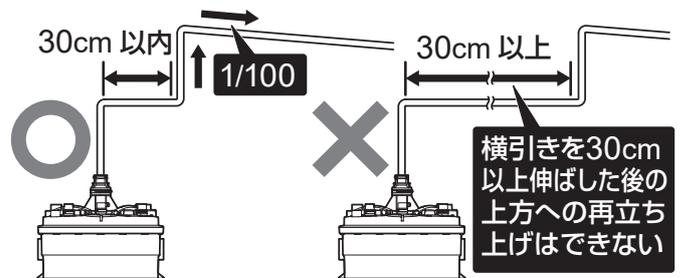
例：10m-(50cm×3曲がり)=8.5m

8.5mまで垂直に立ち上げることができます。



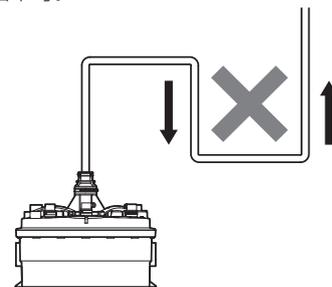
### 4 ●吐出管立ち上げ後、横引きする場合は、逆流防 止のため、1/100勾配をつけてください。

●吐出後の横引きは30cm以内に納めてください。

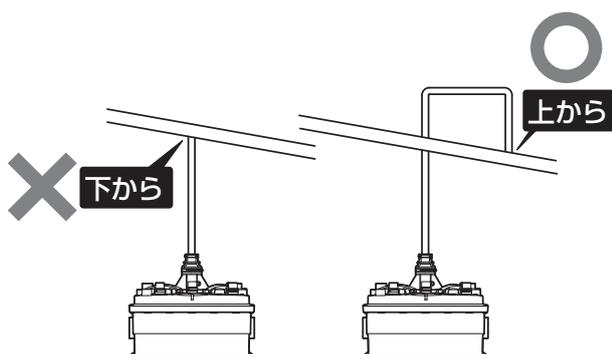


### 5 一度下げた配管は再び立ち上げることができません。

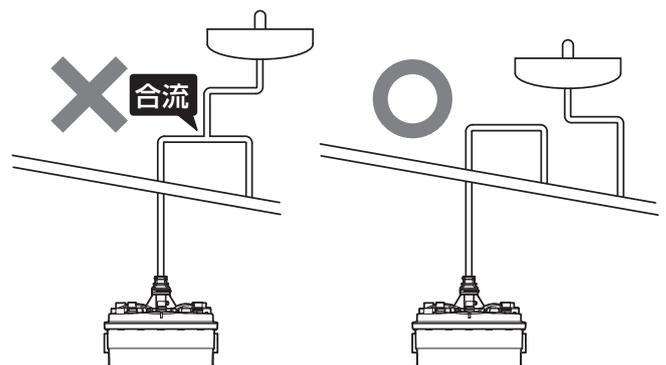
※逆鳥居配管不可。



### 6 落水による逆流防止のため、圧送管は排水主管上 部に接続してください。



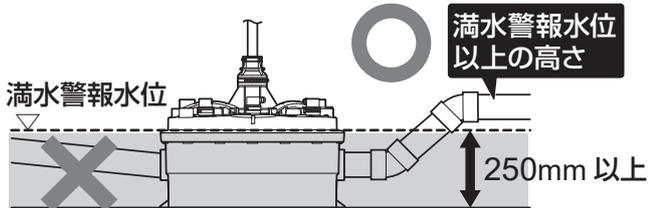
### 7 破封・逆流防止のため、他の衛生器具との合流は 禁止です。



# 設計施工ガイド (つづき)

## 流入に関する注意

- 設備機器から本製品への流入配管には、適切な勾配が必要です。(1%以上の下り勾配)
- 本製品横の流入口を使用する場合は、横引き配管の高さを満水警報水位以上の高さとし、本製品の直前で振り下げて接続してください。

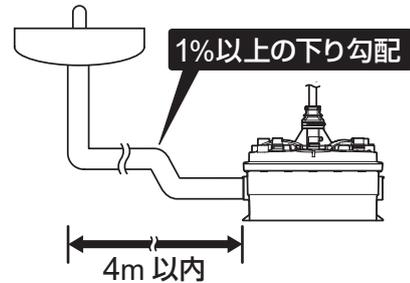


※管内が満水状態になり、漏水の原因になります。

- 本製品に接続されている機器の”あふれ面(縁)”の高さは、本製品の満水警報水位より高くなるように設計してください。

- 設備機器と本製品の接続距離が4mを超えないようにしてください。

排水の流れが悪くなる可能性があります。  
やむを得ず4mを超え、さらに排水の流れが悪くなったときには、設備機器側の排水管に通気を設けることで解消する場合があります。



## 通気

- 本製品は、通気をとる必要があります。  
P.6の方法に従って本体上部の通気口に通気管を立ち上げてください。
- 通気管の先端の高さは、本製品に接続されている機器の”あふれ面(縁)”の高さ以上としてください。
- 給気・排気の両方の機能が必要ですので開放した状態にしておくか、もしくは給排気弁を取り付けてください。  
通気管の先端に「ドルゴ通気弁」は絶対に取り付けしないでください。
- 通気管は屋外開放を原則とします。  
屋外に開放することができず屋内に開放する場合は、通気管から排出される臭気で屋内が汚染される場合があります。  
通気管の先に脱臭用カーボンフィルター(別売りオプション)を取り付けると、通気管から排出される臭気を低減できる場合があります。脱臭用カーボンフィルター(別売りオプション)の詳細はSFA Japanまでお問い合わせください。

## 警報信号のコントロールボックスから外部への移報

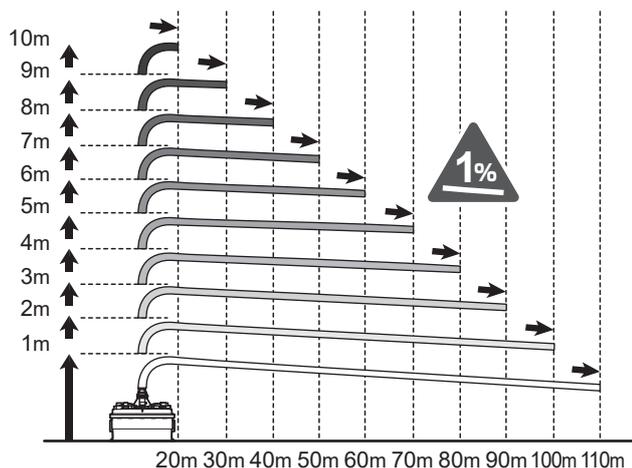
警報信号は、コントロールボックスから外部へ移報することができます。  
信号種は、a接点・無電圧、ワンショットです。  
詳細はSFA Japanまでお問い合わせください。

# 技術情報

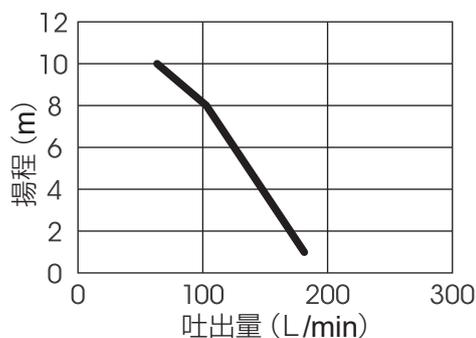
## 仕様

製品名	サニキュービック 2 クラシック
型番	SCB2C-200
設置推奨機器	洋式トイレ(壁/床排水可※設置位置による)・シンク・システムバス・シャワーユニット・手洗器などの複数水まわり
消費電力	単相200V 1100W×2(50Hz)/1300W×2(60Hz)自動交互運転
差込プラグ	差込プラグは付属していません。(P.7参照)
吐出管径	40mm (1カ所) 吐出口にはあらかじめ逆止弁付属
流入管径	100mmおよび40mm (100mm/40mm 兼用流入口 4カ所、40mm 専用流入口1カ所)
通気管径	40mm (1カ所) ※通気管の先は、給気・排気開放する。ドルゴ通気弁の使用は禁止。
耐用温度	流入排水は、70℃以下であること(50~70℃の排水は5分以上の連続流入が無いこと)
寸法	幅597×奥行510×高さ495mm
機器重量	32kg
内部空間容積	50リットル
満水警報水位	設置面 +250 (±10)mm ポンプ内部水位が設置面より約160mmになった時点でポンプ起動
最大全揚程	10m

## 横引き(1%下り勾配)搬送可能距離



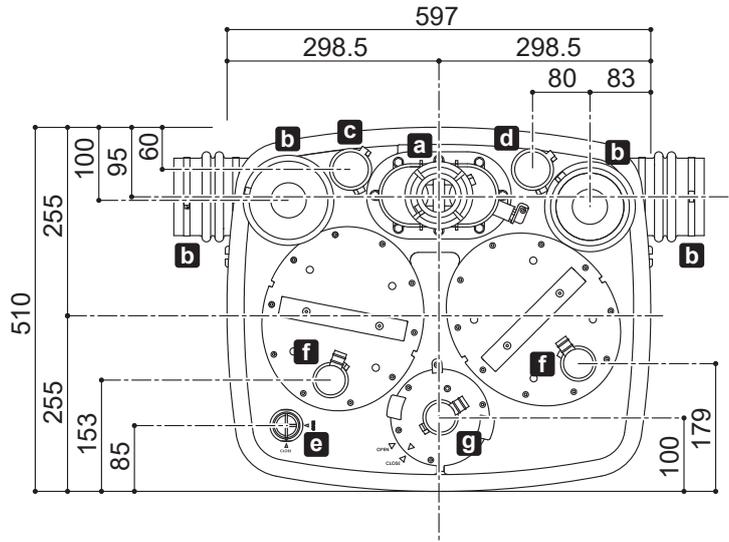
## 能力曲線



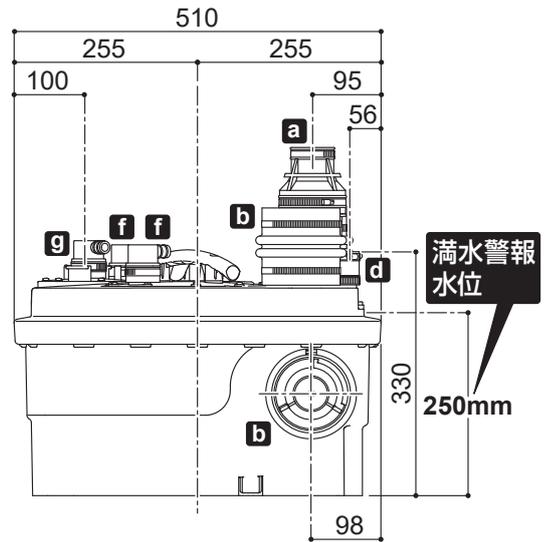
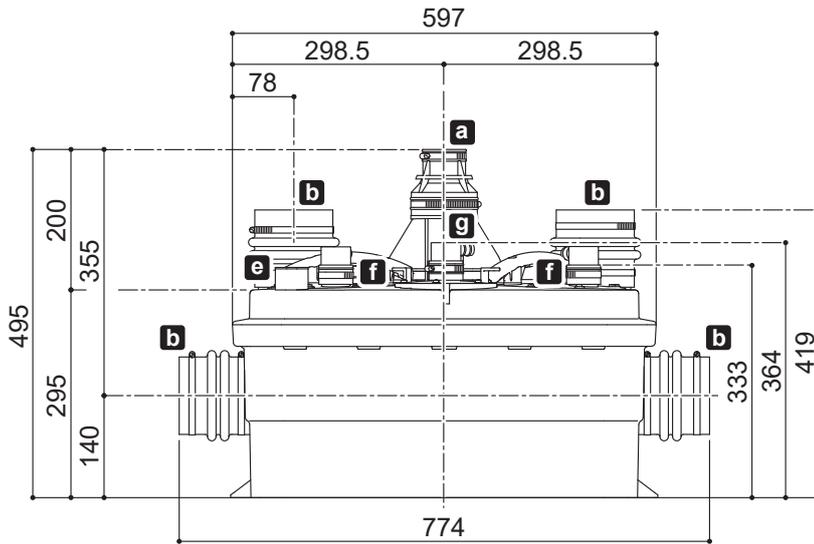
ポンプ吐出量は揚程によって変わります。  
ポンプへの合計流入量は、ポンプの吐出量を超えないようにしてください。

# 技術情報 (つづき)

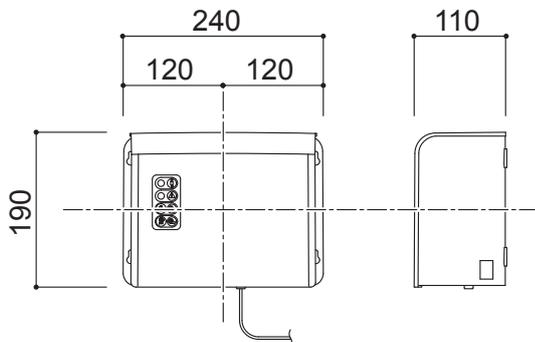
図面【本体】



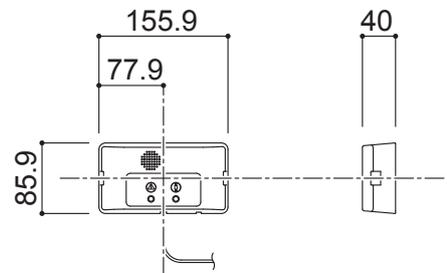
- a** : 吐出管接続口 (40mm)
- b** : 汚水・雑排水流入管接続口 (100mm/40mm)
- c** : 通気管接続口 (40mm)
- d** : 雑排水流入管接続口 (40mm)
- e** : 点検口 あらかじめプラグ装着 (30mm)
- f** : モーター接続ケーブル
- g** : 空圧スイッチ接続ケーブル



図面【コントロールボックス】



図面【アラームボックス(有線警報装置)】



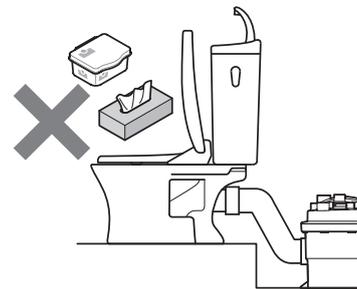
# MEMO

# サニキュービック2クラシック 取扱説明書

施工終了後、点線で切り取り、お客様（ご使用者様）へお渡しください。

## 使用上のご注意

- 本製品に接続したトイレに排泄物、トイレットペーパー以外のものを流すと本製品の故障の原因となります。  
トイレ掃除シート、ティッシュペーパー、ペーパータオルなども投入しないでください。その他、水に溶けない繊維状物質、および固形物も投入しないでください。
- 本製品に接続したシンク・手洗器などに、70℃以上のお湯、油脂分が多い排水を流さないでください。油脂分が多い排水を流す場合は、本製品の流入側（一時側）にグリストラップを設置して排水から油脂分を取り除いてください。上記、機器の排水口には必ず目皿等を設置し大きな固形物が本製品に流入しないようにしてください。それらを流すと本製品の故障の原因となります。  
シャンプーボウルの排水など毛髪の含有が多い排水を流す場合は、本製品の流入側（一時側）にヘアキャッチャーを設置して排水から毛髪を取り除いてください。
- 本製品に電気が供給されていない状態では、接続されている機器は使用できません。停電時等は速やかにそれらの機器の使用を中止してください。本製品及び接続機器に何らかの異常が認められるときは、接続機器の使用を速やかに中止するとともに、本製品の電源を遮断してください。



## 長期間使用しない場合

### ⚠ 注意



必ず守る

本製品に接続されている機器の給水管の止水栓を閉めるとともに、安全のため電源ブレーカーを落として本製品への電源を遮断してください。

## 異常が発生した場合

下記のような異常が本製品に発生した場合は、本製品に接続されている設備機器の使用を速やかに中止するとともに、電源ブレーカーを落として本製品への電源を遮断し、SFA Japanまでご連絡ください。

- 本製品に接続されている設備機器からの排水が流れない
- 作動しない
- 異音がする
- 漏水している
- 作動し続け、止まらない
- 異常に熱くなっている
- 警報音が鳴り続けている場合はP.14、15の  
”警報発令時の対処”に従ってください

点検修理が必要な場合は、SFA Japan 認定作業者を派遣致します。

### ⚠ 警告



切断注意



感電注意

### 絶対に分解しない

本製品にはカッター刃が内蔵されています。内部に触れることにより人体に障害がおこる可能性があります。

### 異常時の連絡先

**03-5623-3151**

## 保証

家庭用については2年間、業務用・商業用については1年間保証されています。

保証期間は、エンドユーザーによる購入日又はプロジェクトの操業開始日から起算します。

保証は、本取扱説明書に従って正しく設置し、正しく使用していることを条件とします。

油脂物質、食品くず、繊維質のシート・ペーパー・紙類、草木の葉・枝・茎、ゴム金属木製の小片など、水に溶けない異物に起因する製品の故障及び損傷は、保証できません。

また、有機溶剤、酸性・アルカリ性溶液、その他化学薬品が流れ込むと製品の故障及び損傷を引き起こす原因になり、保証が無効になります。

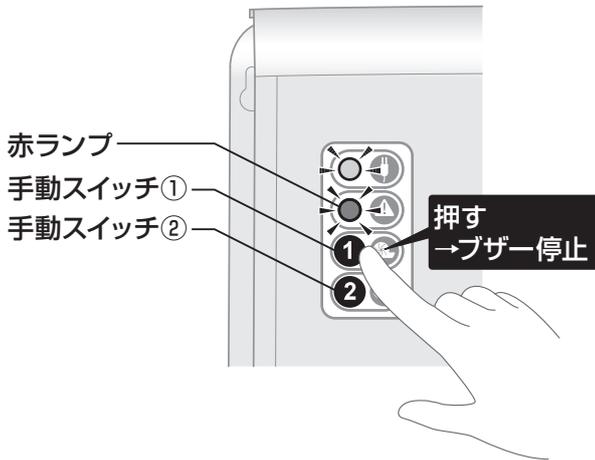
# 警報発令時の対処

## 赤ランプが「点灯」し、ブザーが鳴っている場合

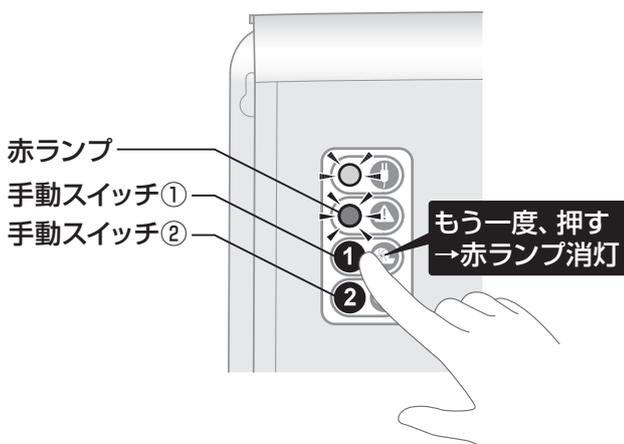
ポンプ内部の水位が異常に上昇しています。吐出不良もしくは排水の過流入が原因です。

### コントロールボックス

- 1** 手動スイッチ①又は②を押す。  
ブザーが停止します。



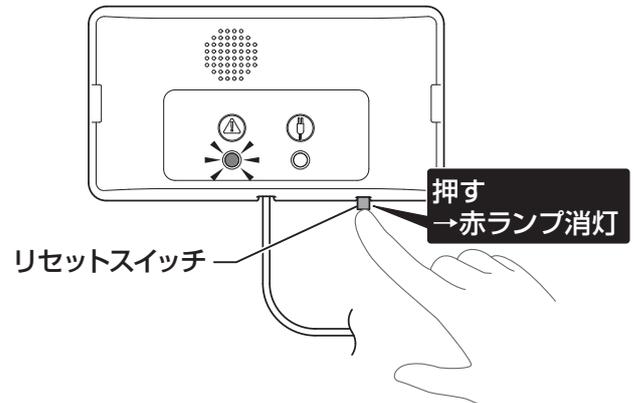
- 2** 手動スイッチ①および②を交互に3回程度数秒間押して、ポンプを強制運転させます。



赤ランプが消え、ブザーが停止した場合は、そのまま使用してしばらく様子を見てください。

### アラームボックス(有線警報装置)

- リセットスイッチを押す。  
赤ランプが消灯します。



コントロールボックスの赤ランプが消灯したにもかかわらず、アラームボックスの赤ランプが点灯している場合は、リセットスイッチを押すと消灯します。

## 赤ランプが消えず、ブザーが鳴り続ける場合

異常が解消されていません。本製品に接続されている機器の使用を停止し、電源ブレーカーを落として本製品への電源を遮断した後、下記SFA Japanまで連絡してください。

異常時の連絡先

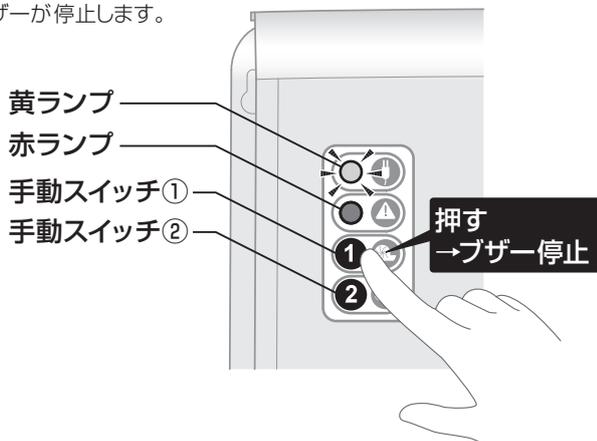
**03-5623-3151**

# 警報発令時の対処 (つづき)

黄ランプが「点滅」、赤ランプが「点灯」し、ブザーが鳴っている場合  
停電などの理由でポンプに通電されていない不具合です。

## コントロールボックス

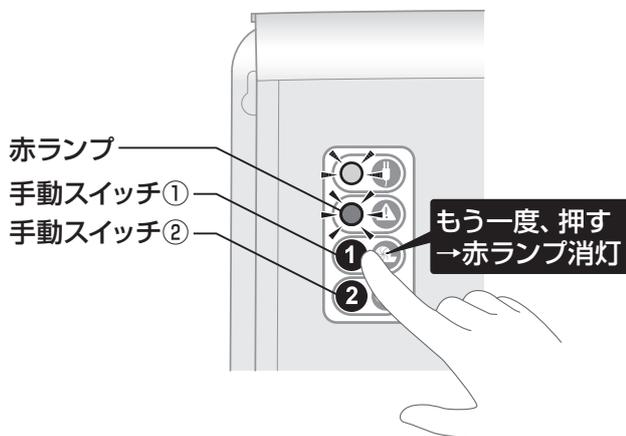
手動スイッチ①又は②を押す。  
ブザーが停止します。



本製品に接続されている機器の使用を停止してください。

## 停電が解消し、通電が再開された場合

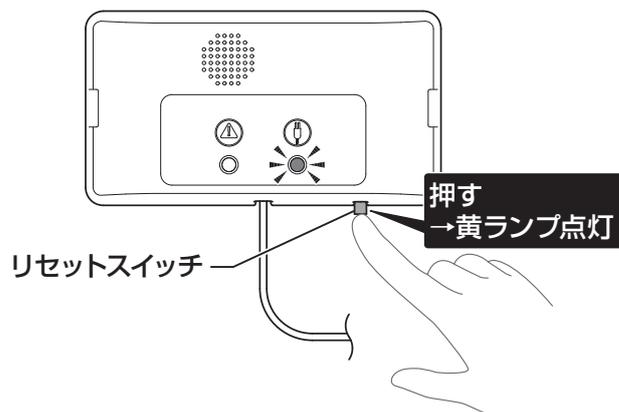
自動的に黄ランプは点灯状態に戻りますが、赤ランプは自動復旧されません。  
P.14 2 に従い、手動スイッチを押してリセットし、赤ランプが消灯状態になることを確認してください。



以降、本製品に接続されている機器の使用を再開してしばらく様子を見てください。

## アラームボックス(有線警報装置)

アラームボックス(有線警報装置)が黄ランプ点滅のままの場合は、リセットスイッチを押す。  
黄ランプが点灯に戻ります。



コントロールボックスの黄ランプが点灯状態に戻ったにもかかわらず、アラームボックスの黄ランプが点滅している場合は、リセットスイッチを押すと点灯状態になります。

## 赤ランプが「点滅」し、ブザーが鳴っている場合

ポンプ内部の水位が異常に上昇しています。水位検知装置の異常が原因です。

本製品に接続されている機器の使用を停止し、電源ブレーカーを落として本製品への電源を遮断した後、下記SFA Japanまで連絡してください。

異常時の連絡先

**03-5623-3151**

# SFA Japan 株式会社

(エス・エフ・エー ジャパン株式会社)

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町20-3 箱崎公園ビル7階

TEL

代表

**03-5623-3151**

ホームページ

**[www.sfa-japan.jp](http://www.sfa-japan.jp)**